

「ぐるっぴー」あみーろーど発着所（市有地） トライアル・サウンディングにおける調査結果の報告

令和5年9月12日

宮崎市長 清山 知憲

「ぐるっぴー」あみーろーど発着所敷地（市有地）について、民間開発による市場性やニーズ等を確認するため、民間事業者の皆様にご協力をいただき、実際の集客性や採算性を確認していただくトライアル・サウンディングを実施しましたので、その結果の概要を公表します。

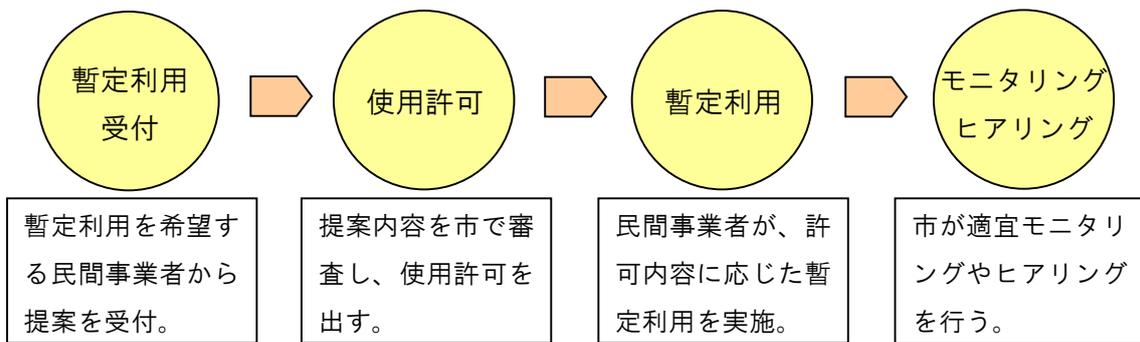
なお、本調査においては、当公表内容以外にも多くのご意見等を頂きましたが、参加事業者様の知的財産保護の観点から参加事業者様にご承諾を頂いた内容のみを公表するものです。

トライアル・サウンディングとは

市が保有する公共施設等の暫定利用を希望する民間事業者を募集し、一定期間、実際に使用していただく制度です。

市は、対象施設の市場性やニーズ等を確認することができ、民間事業者は立地、使い勝手、採算性等を確認することができます。

事業の実施においては、当該敷地及び敷地に設置済みの電気、水道を使用する場合の使用料は全額免除としました。



1 対象施設

所在地	宮崎市広島二丁目2番
敷地面積	430.14 m ² (公簿地籍)
用途地域	商業地域
建蔽率・容積率	80%・600%
防火地域	準防火地域
その他の地域地区	駐車場整備地区



2 調査の実施期間

- (1) 募集期間：令和5年3月17日(金)～令和5年8月4日(金)
- (2) 実施期間：令和5年4月24日(月)～令和5年8月31日(木)

3 参加事業者数

- 6事業者 (法人のグループも1事業者とする)
- 6事業者の内、対話のみの実施が2事業者

4 事業者からいただいた意見等

① 事業採算性について

- 暫定利用事業者からは「立地が良いため将来的な採算が見込める」という意見
- 気温が落ち着く時期であれば、ぐるっぴー発着所で人の動きもある場所のため、来街者の流れも期待できるという意見もあった

② 対象地の利用上の課題について

- 暫定利用事業者からは「立地は良いが、奥まっているため見えにくい」「敷地内にトイレがない」という意見
- 夏場は暑さ対策がないと有効活用は望めないという意見もあった

③ 事業化した場合の参加の意向について

- 参加いただいた6事業者のうち、6事業者は参加の意向あり

④ 各社が想定する事業方式

- 借地としての利用
- 日割での実施ができると良いという意見もあった

⑤ その他意見

- ぐるっぴーと連携した取組ができると良い
- 発着所利用者とあみーろーどの通行車両や歩行者等の安全を確保する必要がある
- 近隣に店舗、住宅等があるため、音出し等に注意する必要がある

5 調査結果を踏まえた今後の対応

今回のサウンディング型市場調査により、本市における事業化の可能性、民間事業者の参入意向を確認できました。

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、民間活力を前提とした事業展開方針について引き続き検討を進めていきます。